学校番号	218

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『高校生の公共』　（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「公共」は暗記科目ではありません。18 歳で「大人」になる皆さんが、スマホの契約、アルバイト先のルール、進学や就職など、社会に出てから損をせず賢く生きていくための「武器」を手に入れる時間です。

授業では、先生の話を聞くだけでなく、ペアやグループで話し合ったり、スマホで調べたり、意見を発表するワークをたくさん行います。正解は一つとは限りません。「自分ならどうするか」を考え、間違えてもいいのでどんどん意見を出し合いましょう。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとするとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部1章 公共的な空間をつくる私たち	1 「大人」へ向かう私たち 2 悩みと向き合うためのヒント 3 多様な個性が存在する社会 4 私たちの社会に息づく宗教 5 私たちの生活と日本の伝統・文化 6 社会をつくる私たち	a: 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間をつくり出していこうとする自立した主体になることが、みずからのキャリア形成と共によりよい社会の形成に結びつくことについて理解している。 b: 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間をつくる存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	振り返りシート

	第1部2章 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方	1 よりよく生きるためのヒント 2 幸福と正義の考え方 3 動機と結果の考え方 4 他者と共に生きる倫理	a: 人間としてのあり方・生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につけている。 b: 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、みずからも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方について、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	発表 振り返りシート

	第1部3章 公共的な空間における基本的原理	1 近代憲法に流れる考え方 2 日本国憲法に生きる基本的原理 3 平等に生きる権利 4 精神活動の自由に関する権利 5 身体や経済活動の自由に関する権利 6 より人間らしく生きる権利 7 幸福を求める権利と広がる人権	a: 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 b: 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 振り返りシート
	第2部1章 私たちと法	1節 法や規範の意義と役割 1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 2節 契約と消費者の権利・責任 1 契約の考え方 2 消費者の権利と責任 3節 司法参加の意義 1 司法の役割 2 刑事裁判とその課題	a: 法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、憲法の下、適正な手続きにのっとり、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 現実社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	発表 振り返りシート

2学期	第2部2章 私たちと政治	1節 政治の役割と政治参加 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 国民の政治参加と選挙 2節 主権国家と国際政治 1 国家と国際法 2 日本の主権と領土 3 国際連合の役割と活動 4 人権保障の国際的な広がり 3節 日本の安全保障と防衛 1 平和主義と日本の防衛政策 2 これからの日本の安全保障 4節 国際社会の課題と日本の役割 1 紛争とテロリズム 2 核兵器と軍縮の課題 3 国際協力と日本の役割	a: 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 現実社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 振り返りシート

	第2部3章 私たちと経済	1節　市場経済の機能と限界 1　私たちの生活と経済のしくみ 2　市場経済のしくみ 3　企業の目的と役割 4　経済の変動 2節　金融の働き 1　金融の役割 2　中央銀行の役割と金融政策 3節　財政の役割と社会保障の課題 1　政府の役割と財政の機能 2　日本の財政の課題 3　社会保障の役割と意義 4　社会保障制度の課題	a：市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることおよびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b：自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c：現実社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	発表 振り返りシート

3学期	第2部3章 私たちと経済	4 節　労働者の権利と雇用・労働問題 1 労働者の権利 2 雇用と労働に関する課題 5 節　社会の変化と職業選択 1 産業構造の変化と職業選択 2 社会を支える産業とその変革 6 節　経済のグローバル化 1 国際経済のしくみ 2 国際経済制度の歩み 3 地域経済統合 4 グローバル化と自由貿易協定 5 国際経済の変化と課題 6 経済格差の是正	a: 雇用と労働問題、職業選択、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることおよびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 現実社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 振り返りシート

	第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探究学習	a: 第１部、第２部の学習を振り返りながら、地域の創造、よりよい国家・社会の構築および平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 b: 第１部、第２部の学習を振り返りながら、課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠をもとに自分の考えを説明、論述している。 c: 第１部、第２部の学習を振り返りながら、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会および国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	小テスト	レポート	発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度